

# 山行報告書

作成:2009年6月24日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	常念岳[北アルプス]	目的[方法]	槍・穂高の展望を楽しむ &夏合宿下見
期間	2009年6月20・21日	形態	テント泊(1)
参加人数	6人		

## 行動記録:

6/20日(土) 曇りのち雨

トヨタ自動車元町P(4:00)==豊田IC(4:05)==駒ヶ岳SA(5:40 6:10)==梓川SA(7:00 7:10)==豊科IC(7:20)==一ノ沢駐車場(7:40 8:10)- -常念岳登山口(8:30 8:40)- -王滝ベンチ(9:40 9:50)- -笠原沢出合(10:40 10:50)- -最後の水場 昼食(12:10 13:00)- -常念小屋TS1(14:00 14:40)- -常念岳(15:40 16:10)- -常念小屋TS1(17:00)

6/21日(日) 雨

常念小屋TS1(3:00 5:00)- -3:30- 一ノ沢駐車場(8:30 9:10)=温泉「ほりでーゆ四季の里」(9:40 10:40)==三股駐車場で下見(11:00 11:20)==ほりでーゆ四季の里レストラン(11:30 12:00)==豊科IC(12:20) 駒ヶ岳SA(13:15 13:25)==豊田IC(15:05)==トヨタ自動車元町P(15:10)

## 概念図:



## 日誌:

一ノ沢駐車場到着30台分くらいありそうだがすでに15,6台停まっている。舗装された林道を1.2km程歩き、常念岳登山口へ、水場、トイレ、登山届けポスト有り、沢沿いを緩やかに登っていく、王滝ベンチで休憩をとる。笠原沢出合あたりで残雪の常念岳が顔を見せる。2000m近くで雪渓に降り簡易アイゼンを付ける。500mほど涼しくて気持ちの良い雪渓を歩き最終水場に着く、ここで具たくさん焼きそばの昼食を頂く。休憩の時は冷えたスモモ、ミニトマトなどを頂き元気復活です。ここで2Lの共同水を各自汲み出発、樹林帯を急登し1時間ほどで常念乗越に到着する。正面には、槍ヶ岳や穂高連峰が見え大パノラマに歓声が上がります。しばらく立ち尽くし、写真を撮りまくる。その10分後くらいにはガスがかかり、槍の先は見えなくなり絶好のタイミングに感謝する。日曜日は天気が崩れそうなのでテントを設営し早々に常念岳山頂をめざす、高低差400mの岩や石の急斜面をひたすら登る。テン場から見えていたピークに着きホットするも、その先にもピークが！気を取り直し山頂へ、少しガスがかかっているが、槍ヶ岳から穂高岳にかけての展望はダイナミックであり、大天井岳～燕岳の稜線は今度是非歩いてみたいと思う。往路を戻りテン場に着くと食当のMさんが夕食の準備をしてくださり、早速宴会です。メニューは鳥、ネギ、しし唐炒め、焼き鮎の炊き込みご飯、香りもよく絶品でした。お酒もすすみ8時頃就寝、雨と強い風で目が覚め少し寝不足気味で3時に起床、お雑煮を頂き雨の中早々に撤収、往路を戻る、足を滑らせながらも無事下山。温泉に行きゆっくりくつろぐ、時間が早いので三股駐車場の下見に行く。70台分くらいの広さがあり、トイレ、向かいに10mほど上ると東屋がある。お昼近くになり温泉のレストランに戻り、ざるそばを注文こしが美味い。ここでYさんの友人Eさんと別れを惜しむ。帰路は渋滞も無く予定より2時間程早く到着。

メモ: 幕営料(トイレ代込み)1人600円 温泉入浴料500円

## 感想:

北アルプスは初めての山行で常念からの大パノラマには感激しました。夏合宿で行く時も表情を変えた山々を見るのが楽しみです。